

代表質問

11月定例市議会では、六会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にくっつかを取り上げて、要旨を掲載します。

公明党

県南政令市構想

小委員会での検討課題

問 県南政令市構想合併協議会の三小委員会での検討課題は。

答 合併方式検討小委員会では合併方式の検討、政令市制度の調査を、将来ビジョン基本目標検討小委員会では将来人口や都市像、基本方針、財政シミュレーションの審議を、事務事業調整小委員会では各市町の特徴あるサービスマスや、住民生活に影響の大きい住民負担等について調整方針の検討を行っている。

デジタルミュージアム 学校教育と連携へ

問 岡山市デジタルミュージアム（仮称）の資料や映像を、学校教育に活用しては。

答 情報宝庫コーナーにデジタル技術を活用した現代の人々の営みや歴史、自然に関する資料・情報を展示する計画だ。こうしたコンテンツは、生きた学



デジタルコンテンツで岡山の歴史文化を学習

習教材として豊かな授業展開に役立つと考え、教育との連携について協議を進めている。

本市隣保館

福祉交流プラザへ名称変更

問 本市隣保館の 今後の位

置付けは 平成16年度から新たに実施する具体的内容は。

答 名称を岡山市福祉交流プラザとし、人権福祉に加え、生涯学習機能を持つ住民交流の拠点施設にしたい。土・日・祝日の開館、主催講座の内容充実等を行うとともに、利用者ニーズを施設運営に反映させるため利用者代表等からなる協議会を全施設へ設置する予定だ。

し尿処理の代替業務提供 合理化事業計画策定へ

問 し尿処理業者へ代替業務を提供しているが、平成16年度以降の改善点は。

答 従来方式では市民の理解が得られない。下水道整備計画を基に、し尿収集量の推移を正確に把握し、どの程度の減少で収集車両を一台減車するのか、一台の減車に伴い提供する代替業務の明確な基準を定め合理化事業計画を策定したい。

軽度発達障害児

校内支援体制を強化

問 市内四小学校にある情緒

の通級指導教室の拡充と中学校への新設を。

答 通級指導教室に通う児童は年々増加しており、県教育委員会に新・増設を要望している。通常学級に在籍する軽度発達障害児は、全教職員による支援が必要と考え、平成16年度から小・中学校に校内委員会を設置し、その企画・調整等を行う特別支援教育コーディネーターを置く。

新風会

県南政令市構想

財政上のメリット

問 合併・政令市移行による今後十年間の財政上のメリットは。

答 三役や議員の削減、管理部門の効率化等に伴う退職者不補充による人件費の削減、政令市移行に伴う新たな財源の増加等が見込まれ、合併特例債による建設事業を、上限値五百五十・七億円全額を新規事業に上乗せした場合は約二百二十七億円、半額の場合は三百四十億円の収支改善効果が見込まれる。

女性消防団員

平成16年三十三人を採用

問 団員の減少が進む本市消



活躍が期待される女性消防団員

防団に新たに採用する女性消防団員の 入団資格と平成16年の採用人員は 活動内容は。

答 男性団員同様、市内居住の十八歳以上四十五歳未満の者で、三十三人を採用する。平常時には、火災予防広報活動や防火指導、救急講習等を、災害時には、情報収集や現場広報等の後方支援活動を考えている。

小規模工事

制度を改正し適正な運用へ

問 小規模工事問題で、今後の執行体制と制度の改善は。

答 小規模工事審査委員会での施工の必要性や契約手続きの妥当性等の審査、工事担当課以